

「食品等輸出物流ルート確保緊急対策事業(物流ルート確保事業)」 調査報告書（公表版）

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
アクセントゥア株式会社
2020年7月1日時点版



公益財団法人 **食品等流通合理化促進機構**
the **O**rganization of **F**ood-marketing **S**tructure **I**mprovement

 **accenture**strategy

調査基準日

コロナウイルスの影響は日々変わる中、復便に向けた検討は下記の基準日の断面でのフォワード・航空会社等からのアンケート・ヒアリング結果に基づいて行っている。

- 香港 : 4/23 (木)
- シンガポール : 5/7 (木)
- アメリカ : 5/7 (木)

1. 香港への復便に向けた分析	P3
2. シンガポールへの復便に向けた分析	P15
3. アメリカへの復便に向けた分析	P24
4. 参考資料	
• 香港向け詳細分析資料	P34
• シンガポール向け詳細分析資料	P53
• アメリカ向け詳細分析資料	P71
• 台湾向け詳細分析資料	P87
• タイ向け詳細分析資料	P116
• 各国・外食店運営状況	P144



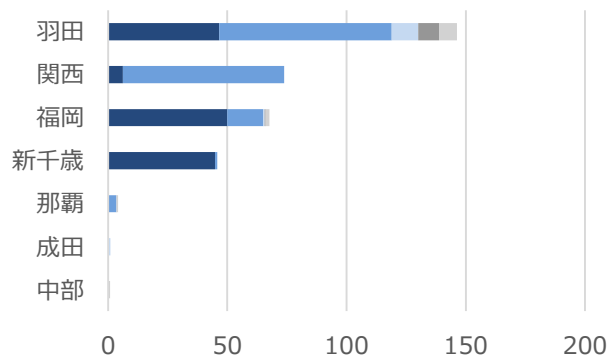
- **香港向け航空便復便**に関しては**羽田便のニーズが最も高く、羽田復便を推進**することが妥当（5/19に復便実現）
 - 主要フォワーダーや現地インポーターへのアンケート調査・ヒアリングにおいて、特に**青果物・水産物の羽田復便のニーズが顕在化**している
 - なお、**物量確保の実現可能性**を懸念する声もあり、**成田便・関空便の維持を優先**したい意向を有する航空会社も存在
- 昨年5-7月の輸出実績では、水産物は**ナマコ・マグロ・うに**、青果物は**桃・ぶどう・メロン**、畜産物は**牛肉**が香港向けの主要品目であり、復便のニーズが見込めるが、特に**羽田便**に関しては、**水産物・青果物の双方**に関して**5月の輸出実績が少ない**
- 羽田からの復便を引き続き最優先に考えつつ、**下記のシナリオ・事業としての実施可能性も視野に入れて検討**すべきではないか
 - 現状輸出ルートが存在する、**成田便・関空便**に関して、**運賃低減・運行頻度の増加**に向けた調整を進める
 - ✓ 運賃上昇を課題認識する事業者も多く、“輸出を止めない”ためにも有効
 - その上で、貨物の増加が見込める**6月以降の福岡からの復便**に向けた調整を進める

事業者アンケート結果 ～空港×品目別ニーズ

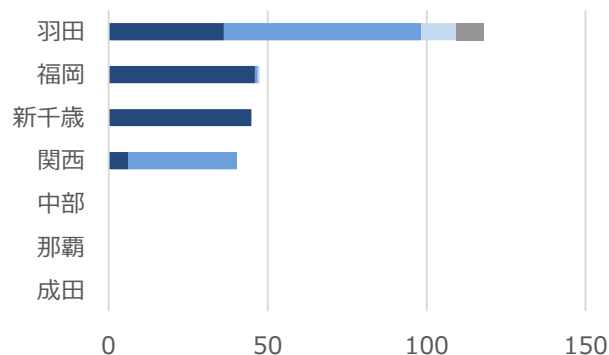


特にフォワーダー・航空会社から羽田便の復便ニーズが高く、現地インポーターは関空・羽田・福岡が同程度であるが、関空からの青果物ニーズが大きい点が特徴。

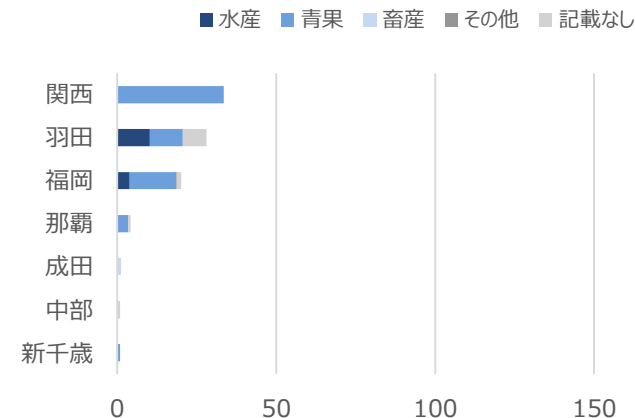
合計（トン/週）



フォワーダー（トン/週）



現地インポーター（トン/週）



			フォワーダー合計	251トン/週	現地インポーター合計	89トン/週
航空会社A	羽田	13トン/便	フォワーダーA	105	現地インポーターA	23
	成田		フォワーダーB	57	現地インポーターB	16
航空会社B	羽田	2トン/便	フォワーダーC	47	現地インポーターC	12
航空会社C	成田	7トン/便	フォワーダーD	29	現地インポーターD	11
	関空		フォワーダーE	13	現地インポーターE	27

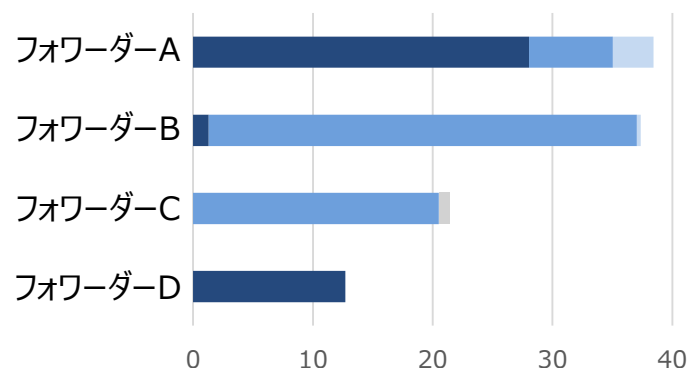
事業者アンケート結果 ～フォワーダー別ニーズ



羽田・関空・福岡では、希望品目の9割以上が青果物・水産物で占められている。羽田では、水産物・青果物に関して特定のフォワーダーによるニーズが大きい。

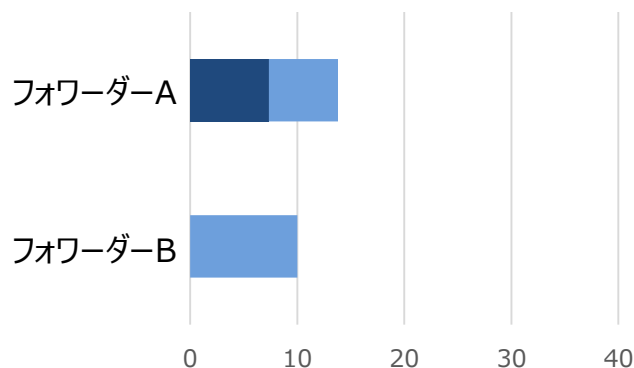
羽田発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



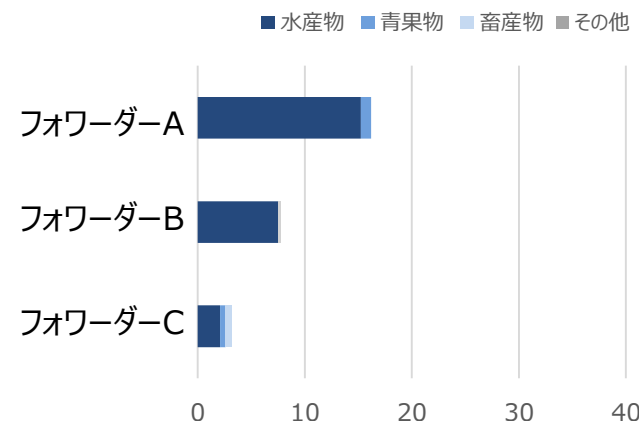
関空発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



福岡発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



羽田発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	青果物	計
輸出事業者A		20	20
輸出事業者B		18	18
輸出事業者C	10		10
輸出事業者D	7.5		7.5
輸出事業者E		7	7
輸出事業者F		6.3	6.3
輸出事業者G		6.3	6.3
輸出事業者H	6		6
輸出事業者I	4		4
輸出事業者J	4		4

関空発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	青果物	計
輸出事業者A		5	5
輸出事業者B		5	5
輸出事業者C	3		3
輸出事業者D		3	3
輸出事業者E	1.5		1.5
輸出事業者F	1.5		1.5
輸出事業者G		1.2	1.2
輸出事業者H		1.2	1.2
輸出事業者I		0.75	0.75
輸出事業者J	0.6		0.6

福岡発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	青果物	計
輸出事業者A	7.2		7.2
輸出事業者B	5		5
輸出事業者C	5		5
輸出事業者D	2		2
輸出事業者E	1.5		1.5
輸出事業者F	1		1
輸出事業者G	0.9		0.9
輸出事業者H		0.75	0.75
輸出事業者I	0.7		0.7
輸出事業者J	0.6		0.6



鮮魚・青果市場からの集荷のしやすさと国内便との接続の利便性から羽田空港の復便を望む声が寄せられた。

羽田復便希望理由

- 通常期(コロナウイルス影響による減便前)は、日本発の生鮮品の大半を羽田発便で輸送していた
- 豊洲を主とした首都圏からの集荷については、立地・距離的に成田空港より羽田空港が好まれ、国内線ネットワークを活用し、地方空港から羽田に集約後、香港線に接続可能となるなど、シームレスな輸送が可能
- 鮮魚・青果市場からの当日出荷を踏まえたリードタイム及び国内便接続の利便性を考えると、羽田空港からの復便のニーズが高い



- 香港向けの航空輸送に関して、減便・欠航による輸送手段のキャパシティ不足以上に、**横持費用も含めた航空輸送費用の高騰を問題視する声が複数**寄せられた
- また、他国と比較すると回復傾向にはあるものの、**依然として香港の外食需要は落ち込んでおり**、日本食店等の外食での消費が主であった**鮮魚については需要そのものの減退の影響が大きい**との指摘
 - 水産物に関しては、業務用は**冷凍で船便輸送**を行っている（航空便から切り替えた）ケースも多く、航空便での鮮魚輸送の需要に限定すると回復途上
- 青果物輸出で**影響が大きかった品目はイチゴの輸出**であるが、出荷時期が終了し、**4～6月は日本産果物の出荷が減る**時期であり、**青果物の航空輸送ニーズも限定的**
 - なお、**7～9月には、ぶどうや桃の出荷が始まる**ため、航空便の影響が出てくる可能性が高い
 - 品質劣化の影響が大きい一部の品目以外に関しては、船便においてもリーファーコンテナによる温度管理が精度高く実施可能であるため、**船便輸送への転換ができているものも多い**
- 地方発便については、直行便の復便を希望する声もあるが、それぞれ台湾や羽田を経由する**代替手段にて輸送は実施**できており、直近では、**横持のための国内線、経由便への輸送費用低減ニーズの方が高い**
 - 沖縄から羽田までの横持は、運賃の高騰と航空機の貨物容量が小さいことが問題となっている
 - 福岡から香港へは台湾経由便で輸出ができていますが、輸送価格が以前より上がっている。なお、**台湾経由でも輸出のタイムラグは少なく、頻度についても大きな問題となっていない**

アンケート調査結果 ～航空運賃コロナ影響前後の価格差



コロナ影響後、航空運賃は平均で99円/kg増加、補助額100円/kgで約60%
(44/73件) がコロナ影響前の運賃水準で輸出できるようになる。

航空運賃の増加額毎の件数

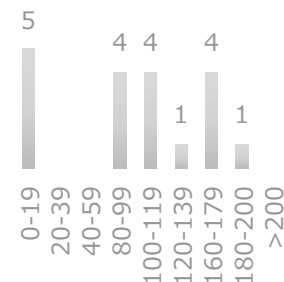
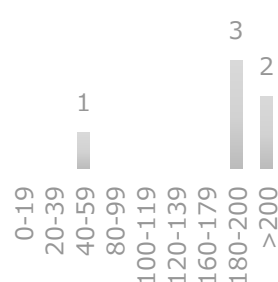
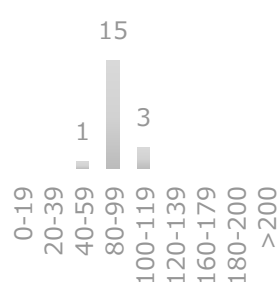
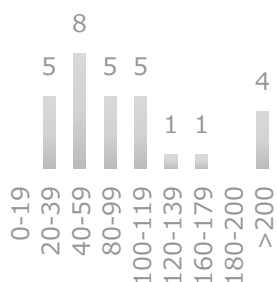
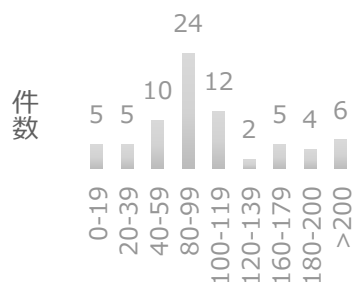
全平均: +99円/kg

羽田平均: +96円/kg

関西平均: +83円/kg

新千歳平均: +195円/kg

福岡平均: +68円/kg



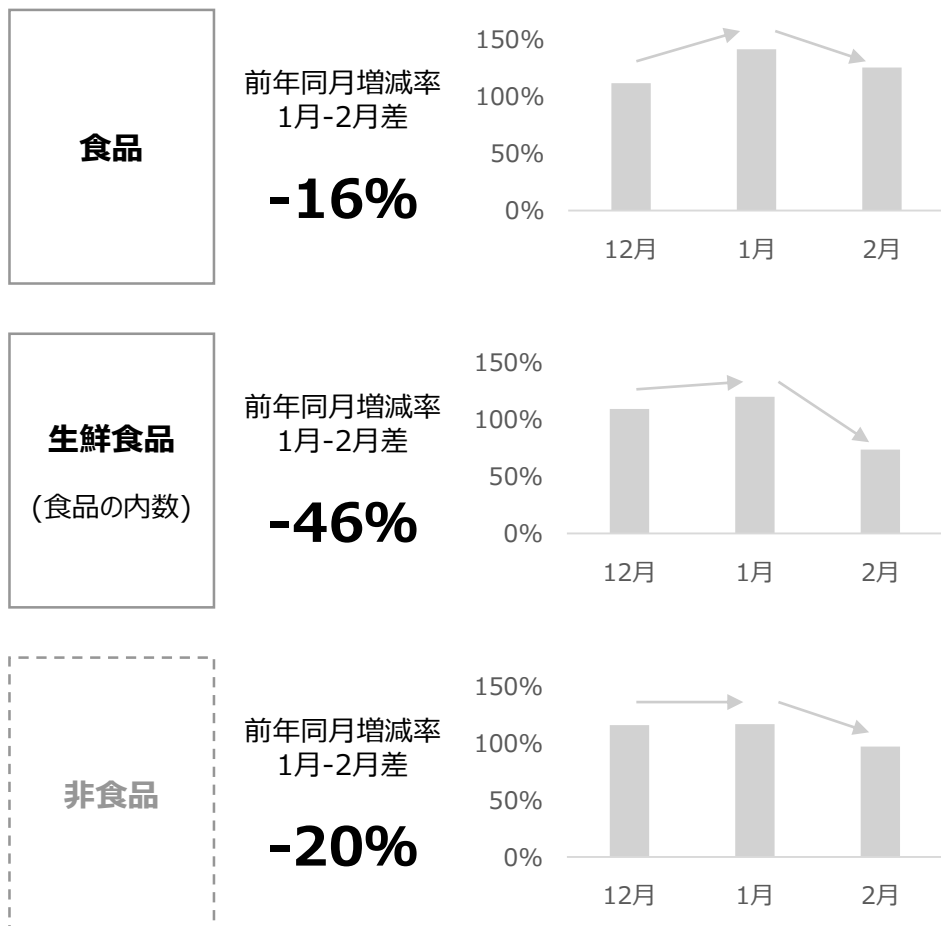
航空便での輸出額の変化



航空便での輸出額への影響は2月から出始めており、特に生鮮食品の輸出額の落ち込みが大きい。2月の対前年増減率の落ち込みは、飲料・水産物・青果物が-50%超。

香港向け航空輸出額 前年同月増減率 (%)

香港向け航空輸出額 前年同月増減率 (%)



生鮮食品

	1月	2月	差
累計	141%	125%	-16%
青果物	139%	87%	-51%
水産物	109%	54%	-56%
畜産物	109%	91%	-18%
加工品	195%	216%	22%
飲料	128%	45%	-83%
その他	106%	105%	-1%

*2019年2月輸出額順
出所：財務省貿易統計よりアクセントにて集計

青果物 ～香港向け航空輸出実績



各品目共通で前年比大幅減であり、いちごを中心に輸出の拠点空港である関空・福岡発の航空便による影響が大きいことが想定。

2019年 航空輸出額 (百万円) ■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

青果物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
いちご 前年増減率(2月) -15%	0.2	202	85	29	711	365	23
メロン・スイカ 前年増減率(2月) -71%	87	54	87	4	68	60	0.9
みかん 前年増減率(2月) -64%	0.5	15	4	-	4	5	-
りんご 前年増減率(2月) -100%	-	9	0.3	0.2	7	1.5	0.4
柿 前年増減率(2月) -2%	-	28	2	1.5	61	1.7	-

*2019年2月輸出額順

出所: 財務省貿易統計よりアクセントにて集計

水産物 ~香港向け航空輸出実績



輸出実績の大きいホタテの新千歳発の輸出、その他水産物の羽田・福岡発の輸出に影響が出ていることが想定される。

2019年 航空輸出額 (百万円) ■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

水産物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
なまこ 前年増減率(2月) -49%	-	1010	454	85	1185	15	32
ほたて 前年増減率(2月) -52%	1138	4.2	0.8	-	-	-	-
マグロ 前年増減率(2月) -48%	5	70	632	-	59	53	1.4
その他魚* 前年増減率(2月) -67%	0.2	-	428	-	65	159	0.5
ぶり 前年増減率(2月) -68%	0.2	0.3	123	-	7	358	-

*2019年2月輸出額順 **HSコード03028990、ハマチと思われる
出所: 財務省貿易統計よりアクセントにて集計

飲料 ~香港向け航空輸出実績



清酒も前年減少率が大きく、特に成田・羽田を中心とした対応が必要か。

2019年 航空輸出額 (百万円)

■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

飲料 Top3品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
清酒 前年増減率(2月) -56%	318	615	280	10	99	9	15
水(清涼飲料水) 前年増減率(2月) -70%	26	106	133	2	133	-	3
ワイン 前年増減率(2月) +85%	-	15	0.2	-	13	-	0.5

*2019年2月輸出額順

出所: 財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計

アンケート調査結果 ～航空運賃コロナ影響前後の価格差

コロナ影響後の運賃増加率は、香港はカーゴタリフの30%以内に収まっているが、シンガポール便は48%、米国便は52-70%と仕向け地によって高騰度合いが異なる。

	香港	シンガポール	米国西海岸(LA)	米国東海岸(NY)	ハワイ
カーゴタリフ** (タリフの30%)	540円/kg (162円/kg)	850円/kg (255円/kg)	1030円/kg (309円/kg)	1230円/kg (369円/kg)	910円/kg (273円/kg)
COVID-19後 平均運賃増加額*	+99 円/kg	+409 円/kg	+534 円/kg	+859円/kg	+640円/kg
対タリフ%	18%	48%	52%	70%	70%

*出所:フォワーダーアンケート集計結果からアクセンチュアにて算出

**出所:「CARGO TARIFF 日本発着キャリア貨物運賃 2020年2月」から300kg以上のタリフを参照

目次

1. 香港への復便に向けた分析	P3
2. シンガポールへの復便に向けた分析	P15
3. アメリカへの復便に向けた分析	P24
4. 参考資料	
• 香港向け詳細分析資料	P34
• シンガポール向け詳細分析資料	P53
• アメリカ向け詳細分析資料	P71
• 台湾向け詳細分析資料	P87
• タイ向け詳細分析資料	P116
• 各国・外食店運営状況	P144

- 6-8月の**シンガポール向け復便**に関しては、**関空便/羽田便**の復便を優先検討することが妥当だが、ボリューム的には**シンガポールよりも香港・米国(特に西海岸)の復便ニーズが高い**と思われる
 - ただし、主要フォワーダー等へのアンケート調査・ヒアリングにおいては、全空港合わせた貨物需要合計が**30.1トン/週**で、**香港向けと比較して約8分の1**と小さい
 - 空港・品目別ニーズは、**水産物の羽田復便のニーズが顕在化**しているものの、**羽田便でも貨物需要は16トン/週程度**
 - 航空会社のアンケートでは、鮮魚・青果市場からの当日出荷、国内便接続の利便性などから羽田発を希望
- 昨年6-8月の輸出実績では、**成田・羽田・福岡からの畜産物(主に牛肉のロイン)が多く**、次いで**成田・羽田からの水産物としてウニ、マグロ**の輸出が一定額存在し、主に外食向けと考えられる
 - 現状は牛肉の輸出はストップしているとの回答もあり、需要は依然低迷
- 消費者アンケートの結果から現在**多くの外食店が閉店**しており、**平均外食頻度もCOVID19以前の3分の1程度**になっているところ、**外食需要の回復状況を見つつ復便のタイミングを設定**するべきか

事業者アンケート結果 ～空港×品目別ニーズ

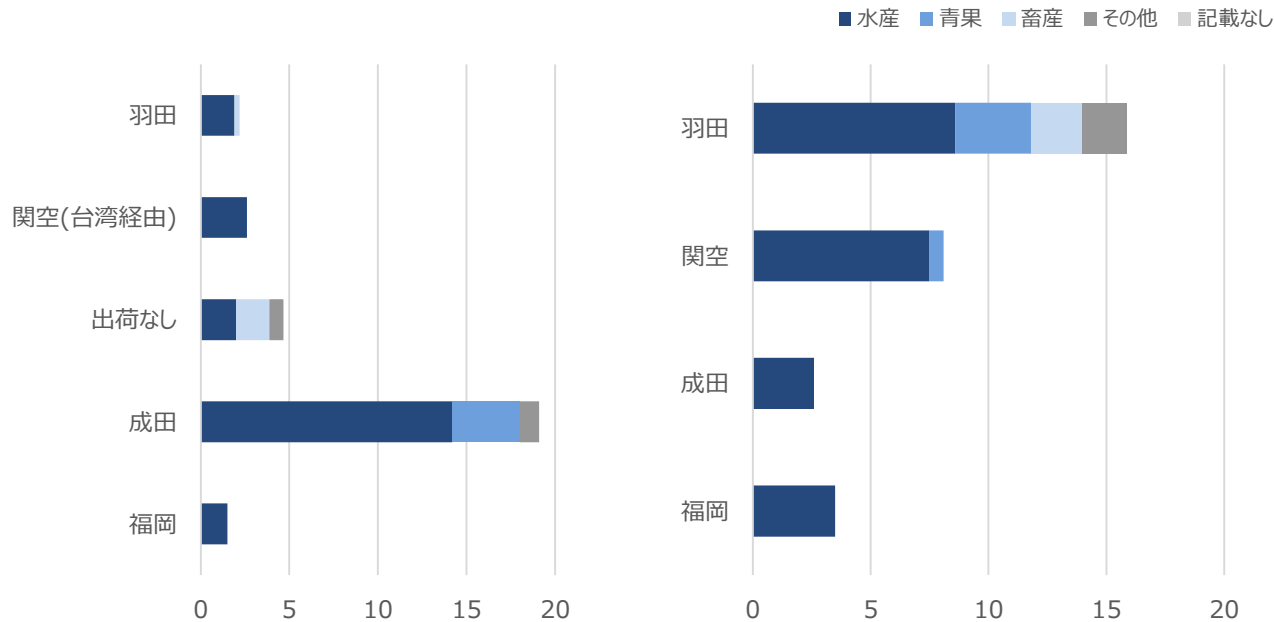


フォワーダーからは羽田、関西便の復便ニーズが高いが、羽田便については現状の成田便を代替するケースが多いと想定される。

現在空港合計（トン/週）

希望空港合計（トン/週）

フォワーダー希望合計（トン/週）



フォワーダー合計	30.1トン/週
フォワーダーA	20.8
フォワーダーB	5.1
フォワーダーC	3.9
フォワーダーD	0.3

出所: 事業者アンケート結果を元にアクセンチュア分析

*畜産は5月時点で需要の復活が見込めないとの注記があるため集計結果には入れていない

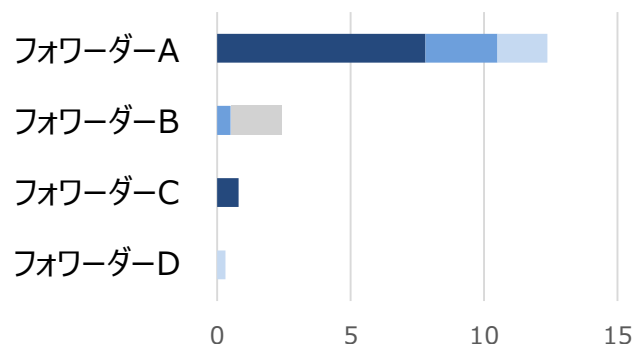
事業者アンケート結果 ～フォワーダー別ニーズ



羽田・関空それぞれでフォワーダー1社の希望輸送トン数が大きく、水産物・青果物の輸送が望まれている。

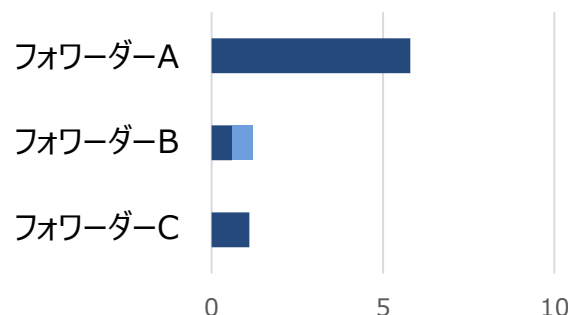
羽田発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



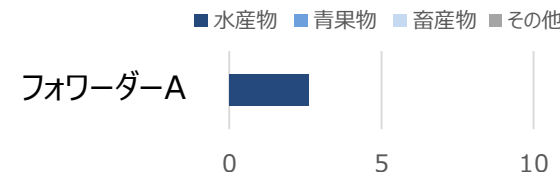
関空発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



成田発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



成田発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	計
輸出事業者A	2	2
輸出事業者B	0.6	0.6

羽田発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	青果物	畜産物	その他	計
輸出事業者A	4.3				4.3
輸出事業者B			1.5		1.5
輸出事業者C				1.1	1.1
輸出事業者D		1			1
輸出事業者E		1			1
輸出事業者F	0.8				0.8
輸出事業者G				0.8	0.8
輸出事業者H		0.7			0.7
輸出事業者I	0.6				0.6
輸出事業者J	0.6				0.6
輸出事業者K	0.5				0.5
輸出事業者L		0.5			0.5

関空発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	青果物	計
輸出事業者A	1.5		1.5
輸出事業者B	1.5		1.5
輸出事業者C	1.2		1.2
輸出事業者D	1		1
輸出事業者E	1		1
輸出事業者F	0.6		0.6
輸出事業者G		0.6	0.6
輸出事業者H	0.5		0.5
輸出事業者I	0.2		0.2

福岡発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



成田発輸出者希望輸送量(トン/週)

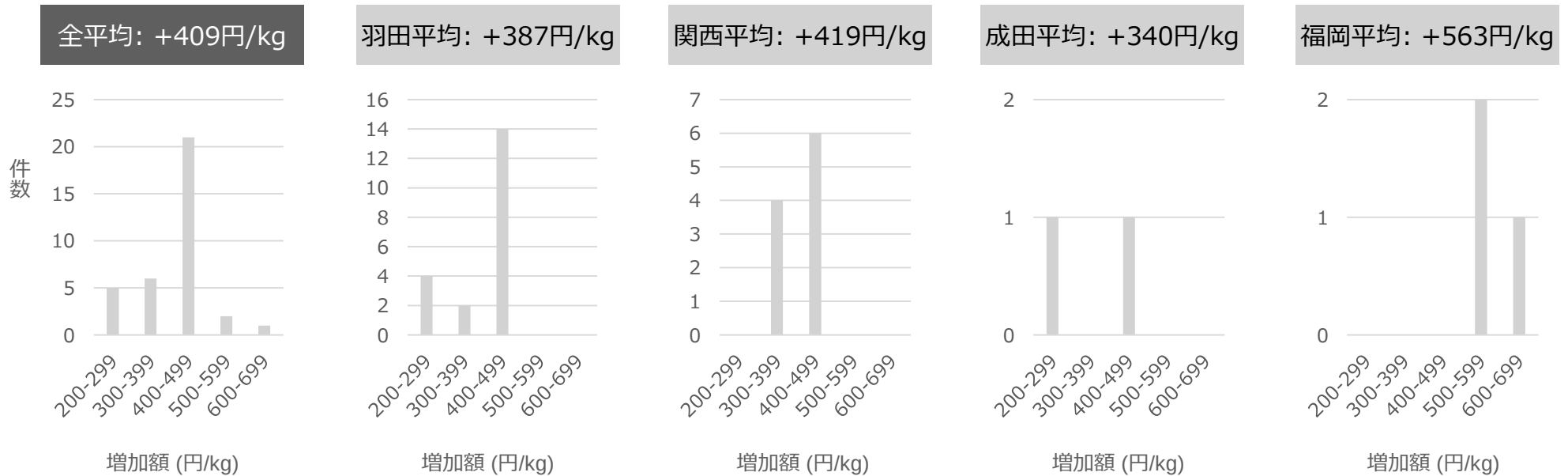
	水産物	計
輸出事業者A	1	1
輸出事業者B	0.9	0.9
輸出事業者C	0.6	0.6
輸出事業者D	0.5	0.5
輸出事業者E	0.4	0.4
輸出事業者F	0.1	0.1

アンケート調査結果 ～航空運賃コロナ影響前後の価格差



コロナ影響後、航空運賃は平均で409円/kg増加、補助額440円/kgで約77%
(27/35件)がコロナ影響前の運賃水準で輸出できるようになる。

航空運賃の増加額毎の件数



青果物 ~シンガポール向け航空輸出実績



いちご、ぶどうを中心に羽田、関空、福岡、那覇から航空輸出を行っている。季節によっては影響があることが想定される。

2019年 航空輸出額 (百万円) ■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

青果物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
いちご	-	0.5	80	-	32	41	12
ぶどう	-	8.8	27	-	29	8.4	24
桃	-	0.2	5	-	10	2	8
みかん	-	0.3	2.7	-	1.8	0.8	1.2
メロン	3	-	0.3	-	0.2	0.4	1.3

*2019年年間輸出額順

出所: 財務省貿易統計よりアクセントにて集計

水産物 ~シンガポール向け航空輸出実績



ウニ、マグロを中心に成田、羽田から輸出している。

2019年 航空輸出額 (百万円)

■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

水産物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
ウニ	15	141	89	-	-	0.6	-
マグロ（冷蔵）	-	68	47	-	32	23	0.4
マグロ（冷凍）	-	29	69	-	-	0.5	22
その他の魚**	-	29	13	-	10	25	-
ナマコ（保存・乾燥以外）	11	18	-	-	5	-	-

*2019年年間輸出額順 **HSコード「030289900」

出所：財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計

畜産物 ~シンガポール向け航空輸出実績



牛肉を中心に、成田、羽田、関西、福岡から輸出している。

2019年 航空輸出額 (百万円)

■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

畜産物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
牛肉（冷蔵・ロイン）	0.3	194	474	-	93	157	30
牛肉（冷蔵・かたうでもも）	4.2	36	85	-	37	24	35
牛肉（冷蔵・ばら）	3.9	12	33	-	21	4.6	7.3
牛肉（冷凍・ロイン）	-	0.9	28	-	-	6.7	23
牛肉（冷凍・かたうでもも）	0.6	-	-	-	-	1.9	2.3

*2019年年間輸出額順

出所：財務省貿易統計よりアクセントにて集計

飲料 ~シンガポール向け航空輸出実績



ウイスキーを関西、成田から、清酒を成田から輸出している。

2019年 航空輸出額 (百万円)

■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

飲料 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
ウイスキー	-	44	0.8	0.6	193	-	0.3
清酒	-	40	31	-	3.2	0.2	0.8
清涼飲料水	-	0.6	-	-	5	-	3.9
ぶどう酒	0.2	0.6	0.5	-	-	-	-
焼酎	-	-	-	-	0.2	-	0.9

*2019年年間輸出額順

出所: 財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計

目次

1. 香港への復便に向けた分析	P3
2. シンガポールへの復便に向けた分析	P15
3. アメリカへの復便に向けた分析	P24
4. 参考資料	
• 香港向け詳細分析資料	P34
• シンガポール向け詳細分析資料	P53
• アメリカ向け詳細分析資料	P71
• 台湾向け詳細分析資料	P87
• タイ向け詳細分析資料	P116
• 各国・外食店運営状況	P144



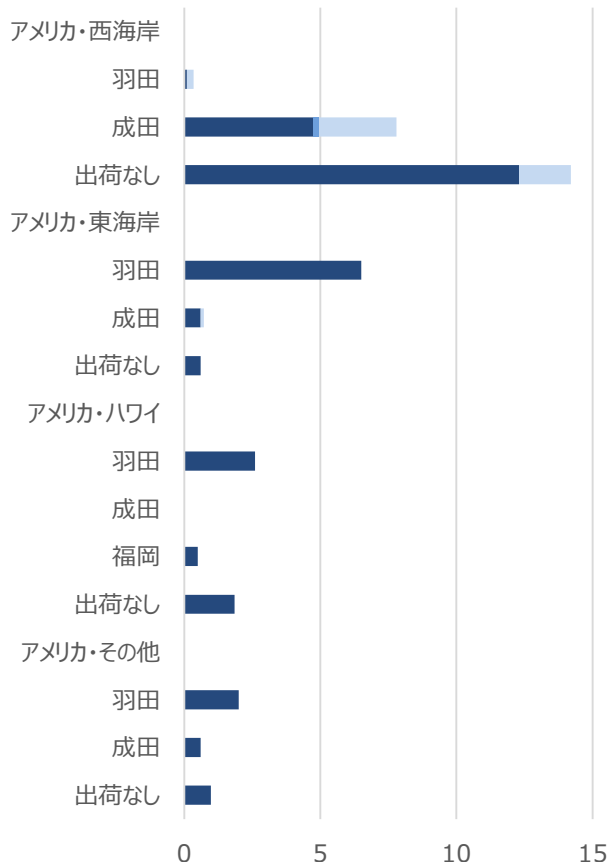
- 6-8月の**アメリカ向け航空便復便**に関しては、**福岡からの横持ちを前提**とした、**羽田発ロサンゼルス着便の復便検討**が妥当か
 - 主要フォワーダー等へのアンケート調査によると、全空港合わせた**貨物需要合計は38.8トン/週**とシンガポールよりは大きい
 - 特に**福岡での集荷需要も高い**が、福岡からアメリカ本土への旅客定期便は存在しないため、成田・羽田経由の輸出が現実的
 - 航空会社によると、羽田・成田空港は、豊洲市場及び福岡・札幌を主とした地方都市からシームレスな輸送が可能であり、ロサンゼルス向けの復便を現実視している
- 貿易統計によると、年間を通じて**福岡からブリとタイ、成田からその他の魚とウニ**の輸出額が大きく、次いで**羽田・福岡から牛肉、成田からウイスキー**が一定額輸出され、青果物の実績は小さい
 - 昨年6-8月の輸出実績では福岡・成田からの水産が主で、次いで福岡・羽田からの畜産が出荷されている
- 消費者アンケートによると**現在は外食店の多くが閉店**しており、**平均外食頻度も半分以下**になっているため、シンガポール同様、外食需要の回復についても動向を注視し復便のタイミングを検討

事業者アンケート結果 ~空港×品目別ニーズ

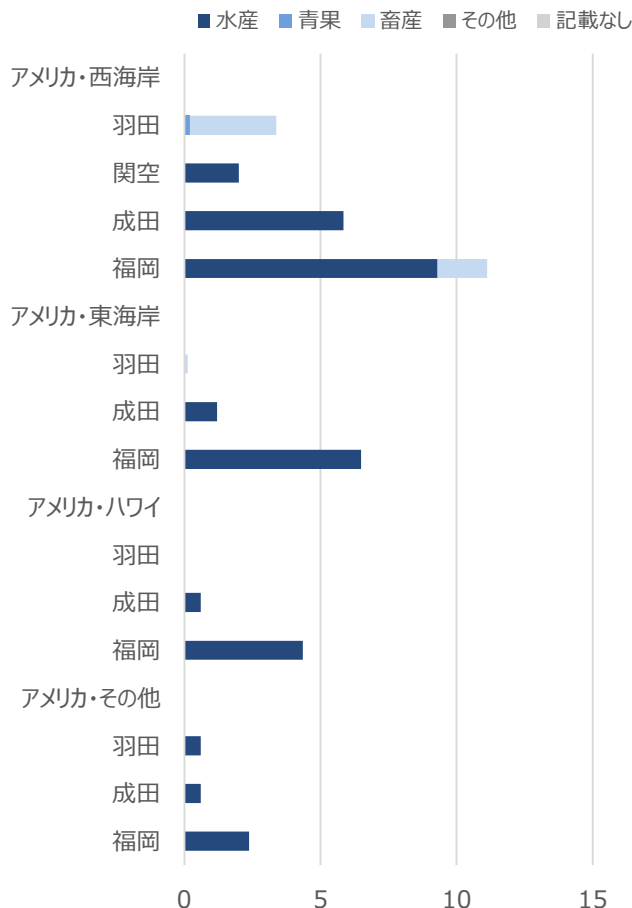


西海岸向けにおいて、福岡・成田・羽田便の復便ニーズが高い。その他の地域へは福岡便のニーズが高い。輸送量の多さから西海岸が優先か。

現在空港合計（トン/週）



希望空港合計（トン/週）



フォワーダー希望合計（トン/週）

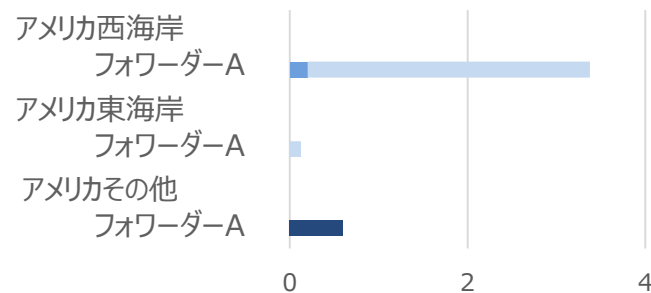
フォワーダー合計 西海岸		22.4トン/週
フォワーダーA		10.4
フォワーダーB		0.5
フォワーダーC		11.5
フォワーダー合計 東海岸		7.8トン/週
フォワーダーA		0
フォワーダーB		6.5
フォワーダーC		1.3
フォワーダー合計 ハワイ		5.0トン/週
フォワーダーA		1.3
フォワーダーB		3.1
フォワーダーC		0.6
フォワーダー合計 その他		3.6トン/週
フォワーダーA		0.4
フォワーダーB		2
フォワーダーC		1.2

事業者アンケート結果 ~フォワーダー別ニーズ



羽田発の輸送希望は畜産物が多く、成田発は水産物が多い。成田・羽田発の輸送はフォワーダーAが希望している。

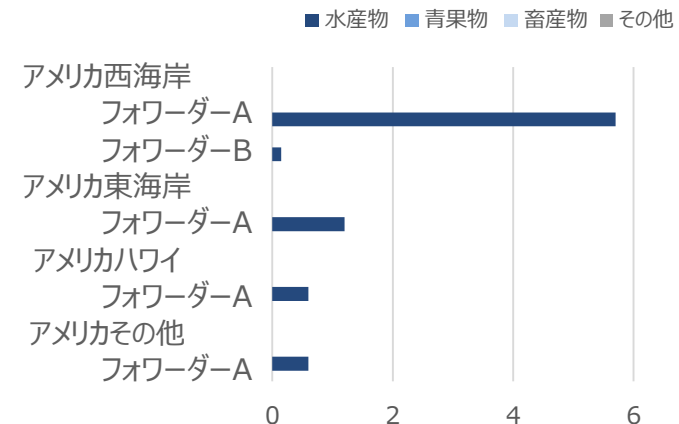
羽田発
フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



羽田発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	青果物	畜産物	計
アメリカ・西海岸				
輸出事業者A			2	2
輸出事業者B			0.5	0.5
輸出事業者C			0.25	0.25
輸出事業者D			0.2	0.2
輸出事業者E		0.2		0.2
輸出事業者F			0.1	0.1
輸出事業者G			0.125	0.125
アメリカ・東海岸				
輸出事業者H			0.125	0.125
アメリカ・その他				
輸出事業者I	0.3			0.3
輸出事業者J	0.3			0.3

成田発
フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



成田発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	総計
アメリカ・西海岸		
輸出事業者A	2.8	2.8
輸出事業者B	1.4	1.4
輸出事業者C	1	1
輸出事業者D	0.3	0.3
輸出事業者E	0.2	0.2
輸出事業者F	0.15	0.15
アメリカ・東海岸		
輸出事業者G	0.6	0.6
輸出事業者H	0.6	0.6
アメリカ・ハワイ		
輸出事業者I	0.6	0.6
アメリカ・その他		
輸出事業者J	0.6	0.6

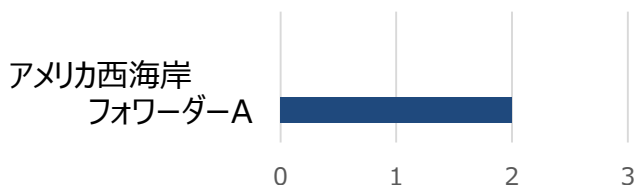
事業者アンケート結果 ~フォワーダー別ニーズ



関西・福岡発のほとんどを水産物が占めている。関西発便の需要は小さく、福岡発西海岸向け、東海岸向けにフォワーダーが需要を表明。

関西発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)

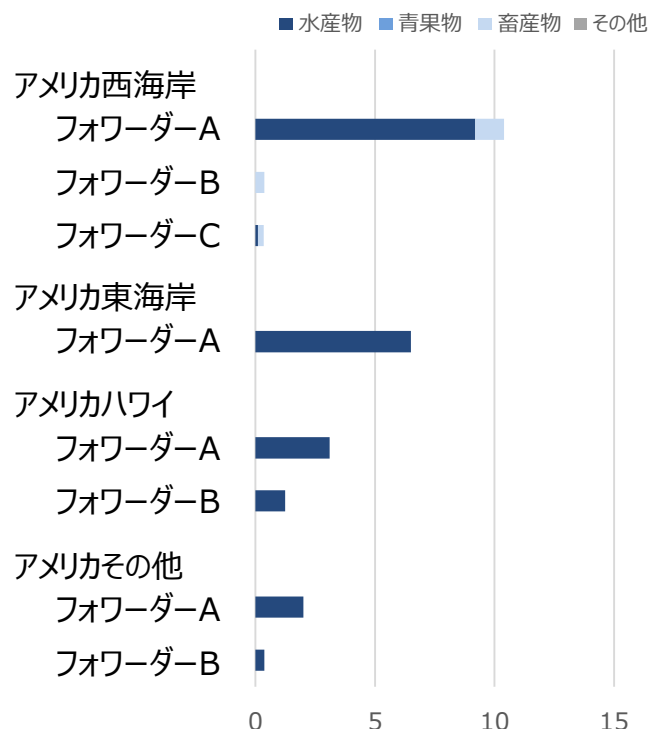


関西発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	総計
アメリカ・西海岸 輸出事業者A	2	2

福岡発

フォワーダー別希望輸送量(トン/週)



福岡発輸出者希望輸送量(トン/週)

	水産物	畜産物	計
アメリカ・西海岸			
輸出事業者A	6.1		6.1
輸出事業者B	3.1		3.1
輸出事業者C		1.2	1.2
輸出事業者D		0.375	0.375
輸出事業者E		0.25	0.25
輸出事業者F	0.1		0.1
アメリカ・東海岸			
輸出事業者G	3.7		3.7
輸出事業者H	2		2
輸出事業者I	0.8		0.8
アメリカ・ハワイ			
輸出事業者J	2		2
輸出事業者K	1.25		1.25
輸出事業者L	0.6		0.6
輸出事業者M	0.5		0.5
アメリカ・その他			
輸出事業者N	2		2
輸出事業者O	0.26		0.26
輸出事業者P	0.12		0.12

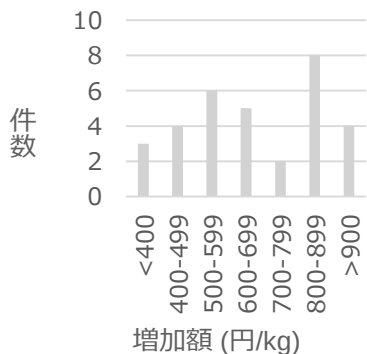
アンケート調査結果 ～航空運賃コロナ影響前後の価格差



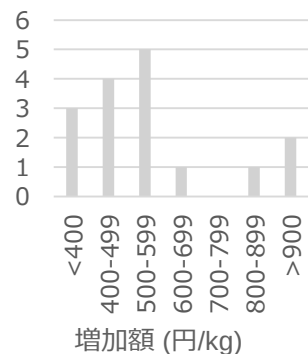
コロナ影響後、航空運賃は平均で657円/kg増加。行先によって金額が異なり、東海岸859円/kg、西海岸534円/kg、ハワイ640円/kgが平均となっている。

航空運賃の増加額毎の件数

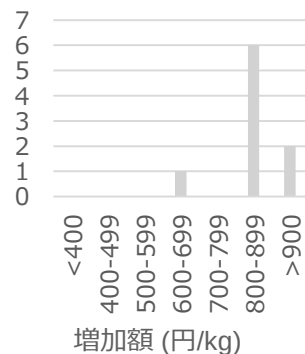
全平均: +657円/kg



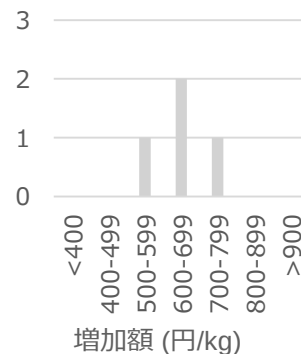
西海岸平均: +534円/kg



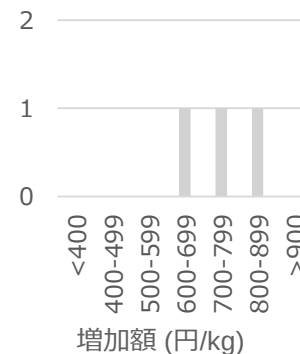
東海岸平均: +859円/kg



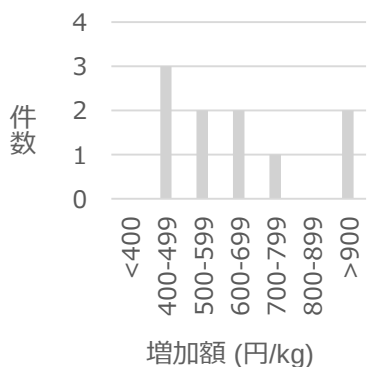
ハワイ平均: +640円/kg



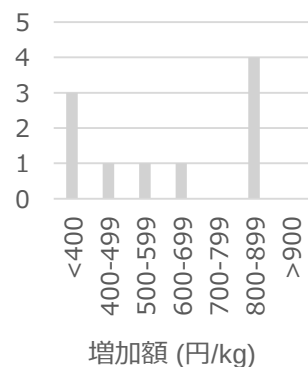
その他平均: +733円/kg



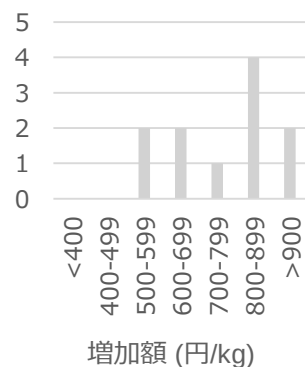
羽田平均: +646円/kg



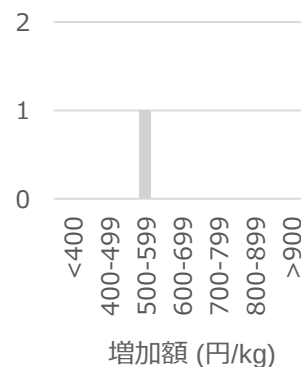
成田平均: +555円/kg



福岡平均: +772円/kg



関西平均: +530円/kg



青果物 ~アメリカ向け航空輸出実績



アメリカ向け青果物の航空便輸出額は年間を通じて非常に小さい。

青果物 Top5品目*	2019年 航空輸出額 (百万円)						
	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
いちご	-	-	14	-	-	7.9	-
その他の野菜	-	0.2	-	-	11	4.3	-
キノコ（はらたけ属以外）	-	1.5	-	-	6.8	-	-
柿	0	1.4	-	-	-	0.2	-
根菜（人参・かぶ以外）	-	-	0.3	-	-	0.7	-

*2019年年間輸出額順

出所：財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計

水産物 ~アメリカ向け航空輸出実績



アメリカ向け航空便輸出は水産物が中心、福岡、成田を中心にブリやウニ、タイなどを輸出している。

2019年 航空輸出額 (百万円)

■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

水産物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
ブリ (冷凍)	-	31	0.5	-	44	1619	-
その他の魚**	-	564	15	-	15	288	-
ブリ (冷蔵)	-	15	32	-	-	485	-
ウニ	13	531	15	-	0.3	25	-
タイ	-	103	15	-	9.9	332	-

*2019年年間輸出額順 **HSコード「030289900」

出所: 財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計

畜産物 ~アメリカ向け航空輸出実績



水産物に次いでアメリカ向け航空便輸出額が大きい、福岡、羽田、関西から牛肉を輸出している。

2019年 航空輸出額 (百万円) ■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

畜産物 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
牛肉（冷蔵・ロイン）	-	18	420	-	183	602	-
牛肉（冷蔵・かたうでもも）	-	4.8	26	-	4	22	-
牛肉（冷凍・ロイン）	-	-	0.3	-	1	27	-
牛肉（冷蔵・ばら）	-	2.2	6.7	-	2.3	9.6	-
牛肉（冷凍・かたうでもも）	-	-	13	-	-	1.5	-

*2019年年間輸出額順

出所：財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計

飲料 ~アメリカ向け航空輸出実績



成田からウイスキー、清涼飲料水を輸出。他品目と比べて輸出額は小さい。

2019年 航空輸出額 (百万円)

■ 5億円超 ■ 1億円超 ■ 5千万円超

飲料 Top5品目*	新千歳	成田	羽田	中部	関空	福岡	那覇
ウイスキー	-	96	-	-	9.7	-	-
清涼飲料水	-	46	-	10	9	-	-
清酒	-	5.8	-	11	6.8	-	-
その他のアルコール	-	7.6	-	-	-	-	-
リキュール	-	-	-	1.7	3.2	-	-

*2019年年間輸出額順

出所: 財務省貿易統計よりアクセンチュアにて集計